

# 留学&音楽・ダンス科

## 英語&ヴォーカルコース

	科目	1年	2年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の時数
全科共通科目	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ	38	38	必修	講義	○	76
	デビュー・就職実務Ⅰ	93		必修	講義		-
	デビュー・就職実務Ⅱ		55	必修	講義		-
	著作権		20	必修	講義		-
	PC実習	45		必修	実習		-
	選択授業	38	38	必修	講義		-
	異文化研究	22		必修	講義		-
	イベント制作実習A	134	110	必修	実習	○	244
	イベント制作実習B	301	305	必修	実習	○	606
専門科目	英会話	133	133	必修	講義		-
	ヴォイストレーニングⅠ	38		必修	実技	○	38
	ヴォイストレーニングⅡ		38	必修	実技	○	38
	コーラスワーク	38	38	必修	実技	○	76
	ライブパフォーマンス実習Ⅰ	38		必修	実習	○	38
	ライブパフォーマンス実習Ⅱ		38	必修	実習	○	38
	ギター専攻実技Ⅰ	38		必修	実技	○	38
	ギター専攻実技Ⅱ		38	必修	実技	○	38
合計	総授業時間数	956					
合計	総授業時間数		851				合計
卒業時最少時間		1807					1230

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師として呼びし、オムニバス形式で講義を行う。</p> <p>講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。</p> <p>到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし
成績評価	<p>課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。</p> <p>(2019年度例)</p> <p>エイベックス・エンタテインメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、oricon ME、株式会社エイスリー 等</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	93 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む          基本PPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。          検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導、新潟県について
2	第1編3章 特別講師による講義・レポート提出
3	第1編1章、メールについて① 特別講師による講義・レポート提出
4	第1編3章、メール発信のフィードバック① 特別講師による講義・レポート提出
5	第1編3章、消費税について 特別講師による講義・レポート提出
6	第1編3章、名刺交換について 特別講師による講義・レポート提出
7	第2編3章、メールについて② 特別講師による講義・レポート提出
8	第2編3章、メール発信のフィードバック② 特別講師による講義・レポート提出
9	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名書きについて① 特別講師による講義・レポート提出
10	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名下記について② 特別講師による講義・レポート提出
11	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
12	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
13	第3編4章 特別講師による講義・レポート提出
14	社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
15	手紙の出し方の復習・郵送、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
16	郵送物のフィードバック、志望動機の書き方(将来の夢)について 特別講師による講義・レポート提出
17	志望動機のフィードバック 特別講師による講義・レポート提出
18	自己PRの書き方 特別講師による講義・レポート提出
19	履歴書の書き方① 特別講師による講義・レポート提出
20	履歴書の書き方② 特別講師による講義・レポート提出
21	履歴書の書き方③ 特別講師による講義・レポート提出
22	履歴書送付について、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
23	送付履歴書のフィードバック、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
24	模擬面接指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
25	特別講師による講義・レポート提出
26	進路面談・指導
27	労働条件セミナー、生活設計、模擬面接・指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出

教科書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント
成績評価	課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	田中 史歩・永島 麻耶 (コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望:「マンダラートシート」の作成 就職志望: I【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。「マンダラートシート」の作成
2	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。志望動機編 書き出しとフィードバック 就職志望:「マンダラートシート」フィードバック
3	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。自己PR編 書き出しとフィードバック 就職志望:①【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
4	アーティスト志望:プロフィール制作方法的の講義。 就職志望:②【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
5	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 校内イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:①【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
6	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
7	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
8	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
9	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:①活動状況報告と個別フィードバック
10	アーティスト志望:校外イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:【面接対策(印象)】
11	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 就職志望:【レピュテーション(評価)・リスクマネジメント】
12	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:【自己世代を知る】Z世代、ミレニアル世代とされる自身の職場に置かれるポジショニング
13	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②活動報告と個別フィードバック
14	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(社内編)
15	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(クライアント・ユーザー編)
16	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:③活動報告と個別フィードバック
17	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。世の中に目を向ける
18	アーティスト志望:企画制作/ゲネプロ 就職志望:②【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。発表とフィードバック
19	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:Ⅱ【目標設定と計画、自覚】「マンダラートシート」の返却と振り返り。

教科書等	なし
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	20 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用)
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	45 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	<p>テキスト・問題集(Word・Excel共に) 自作のプリント</p>
成績評価	<p>検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業			実務授業の有無	×
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	38	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	<p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。                  科目数は毎年約30科目ほどである。                  各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	各科目による
19	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による
成績評価	※各科目によって異なる 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	22 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	



# SHOW！ 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	134 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	<p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	110 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	<p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	301 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」等

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	305 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」等

## SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	英会話		実務授業の有無	×
担当講師	マイケル・プライマー		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	133
対象学科	留学＆音楽・ダンス科		対象コース	全コース

授業概要	<p>This dance specific course is designed to develop English as a Second Language (ESL) through oral skills for establishing and maintaining conversation and communication with native speakers of English dealing specifically with dance.. The course focuses on a range of skills including listening comprehension, participating in class discussions, understanding conversational styles, asking and answering questions, interacting with native speakers. This course seeks to:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 develop strengths for communicating effectively in dance and social situations, e.g., expressing an opinion, agreeing/disagreeing, asking for clarification, interrupting, etc.</li> <li>2 analyze the structures of the English language, the meaning behind these structures in common social discourse structures.</li> <li>3 learn the most common conversational rules and expectations for maintaining a</li> </ol>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Listening comprehension. English class discussions. English role play activities. Asking and answering questions. Interacting with native and non native speakers.
2	Review of previous lesson. Listening comprehension. English class discussions. English role play activities. Asking and answering questions. Interacting with native and non native speakers.
3	Review of previous lesson. Listening comprehension. English class discussions. English role play activities. Asking and answering questions. Interacting with native and non native speakers.
4	Review of previous lesson. Listening comprehension. English class discussions. English role play activities. Asking and answering questions. Interacting with native and non native speakers.
5	Review of previous lesson. Listening comprehension. English class discussions. English role play activities. Asking and answering questions. Interacting with native and non native speakers.
6	Review of previous lesson. Listening comprehension. English class discussions. English role play activities. Asking and answering questions. Interacting with native and non native speakers.
7	Review of previous lesson. Listening comprehension. English class discussions. English role play activities. Asking and answering questions. Interacting with native and non native speakers.
8	Review of previous lesson. Listening comprehension. English class discussions. English role play activities. Asking and answering questions. Interacting with native and non native speakers.
9	Review of previous lesson. Listening comprehension. English class discussions. English role play activities. Asking and answering questions. Interacting with native and non native speakers.
10	Review of previous lesson. Listening comprehension. English class discussions. English role play activities. Asking and answering questions. Interacting with native and non native speakers.
11	Review of previous lesson. Listening comprehension. English class discussions. English role play activities. Asking and answering questions. Interacting with native and non native speakers.
12	Review of previous lesson. Listening comprehension. English class discussions. English role play activities. Asking and answering questions. Interacting with native and non native speakers.
13	Review of previous lesson. Listening comprehension. English class discussions. English role play activities. Asking and answering questions. Interacting with native and non native speakers.
14	Review of previous lesson. Listening comprehension. English class discussions. English role play activities. Asking and answering questions. Interacting with native and non native speakers.
15	Review of previous lesson. Listening comprehension. English class discussions. English role play activities. Asking and answering questions. Interacting with native and non native speakers.
16	Review of previous lesson. Listening comprehension. English class discussions. English role play activities. Asking and answering questions. Interacting with native and non native speakers.
17	Review of previous lesson. Listening comprehension. English class discussions. English role play activities. Asking and answering questions. Interacting with native and non native speakers.
18	Review of previous lesson. Listening comprehension. English class discussions. English role play activities. Asking and answering questions. Interacting with native and non native speakers.
19	Review of previous lesson. Listening comprehension. English class discussions. English role play activities. Asking and answering questions. Interacting with native and non native speakers.

教科書等	無
成績評価	成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 Student evaluation is graded on class participation, attitude and effort displayed during classes.
実務経験教員の経歴	

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォイストレーニングⅠ		実務授業の有無	○
担当講師	延沢 汐美		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	留学 & 音楽・ダンス科		総授業時間	38 時間
			対象コース	英語 & ヴォーカルコース

授業概要	発声や歌唱に関する知識の構築と、基礎としての土台作りを通して、声に対するの興味と関心を深くする。ストレッチや筋力トレーニングを通して体作り、発声練習を通じた呼吸機能・発声機能・ヴォーカルテクニック向上、発声の仕組みや呼吸に関する知識向上など、ヴォーカリストとしての知識力・基礎力の構築。 また、声の種類やそれぞれの課題に合わせた課題曲の歌唱を通して、自分自身の声と向き合うとともに、様々な音楽ジャンルや歴史にも興味を持たせる。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／基礎レッスン 現段階での声質・声量・歌唱力チェック→次回の授業にて行うことを伝える
2	基礎レッスン／MCTトレーニング 現段階での声質・声量・歌唱力チェック 1人ずつ・1コーラスのみ
3	基礎レッスン／MCTトレーニング 発声の仕組み・共鳴腔説明(咽頭腔・胸腔:「お」、口腔:「あ」、鼻腔:「んが」)／ハミングロングトーン
4	基礎レッスン／MCTトレーニング ロングトーン／音階「ま」／発声から発音へ
5	基礎レッスン／MCTトレーニング 5度音程／オクターブ音程／細かい音程(上昇・下降)／横隔膜トレーニング(ドッグプレス)
6	基礎レッスン／MCTトレーニング ファルセット／課題曲発表／HW:曲を覚えてくる
7	基礎レッスン／MCTトレーニング 課題曲 テーマ:ファルセット 1コーラスのみ／次回課題曲発表 テーマ:自分で選曲するファルセット曲
8	基礎レッスン／MCTトレーニング 前期課題発表■発声練習(音源)に合わせて ■課題曲 自分で選曲するファルセット曲 フルコーラス
9	課題曲 1人1人に課題曲 Full cho
10	イントロダクション／基礎レッスン 課題曲 テーマ:パワフル
11	基礎レッスン 課題曲 テーマ:パワフル
12	基礎レッスン 課題曲 テーマ:リズム(R&B)
13	基礎レッスン 課題曲 テーマ:リズム(R&B)
14	基礎レッスン 課題曲 テーマ:バラード
15	基礎レッスン 課題曲 テーマ:バラード
16	基礎レッスン 課題曲 アニソン
17	基礎レッスン 課題曲 アニソン・1人1人に課題曲(HW)
18	基礎レッスン 課題曲 1人1人に課題曲 1cho歌唱
19	基礎レッスン 課題曲 1人1人に課題曲 Full cho歌唱

教科書等	・講師制作テキスト ・課題曲の楽譜・音源・歌詞カード
成績評価	課題曲の成果30%、授業態度および学習意欲70% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ヴォーカルインストラクター・イベントシンガー・チャペルシンガーとして10年音楽業界に従事

## SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォイストレーニングⅡ		実務授業の有無	○
担当講師	延沢 汐美	講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択 必修	
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	留学&音楽・ダンス科		対象コース	英語&ヴォーカルコース

授業概要	<p>発声や歌唱に関する知識の構築と、基礎としての土台作りを通して、声に対しての興味と関心を深くする。また、1年次から行っている他ジャンルへの知識と興味も深くし、自身のオリジナル楽曲制作へのアイデアやヒントとさせ、制作意欲を上げていく。また、様々な現場を想定して、必要なスキルの構築も行う。</p> <p>ストレッチや筋力トレーニングを通して体作り、発声練習を通じた呼吸機能・発声機能・ヴォーカルテクニック向上、発声の仕組みや呼吸に関する知識向上など、ヴォーカリストとしての知識力・基礎力の構築。</p> <p>また、声の種類やそれぞれの課題に合わせた課題曲の歌唱を通して、自分自身の声と向き合うとともに、様々な音楽ジャンルや歴史にも興味を持たせる。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／基礎レッスン 現段階での声質・声量・歌唱力チェック→次回の授業にて行うことを伝える
2	基礎レッスン／MCTトレーニング 現段階での声質・声量・歌唱力チェック 1人ずつ・1コーラスのみ→それぞれの声質や課題点などアドバイス
3	基礎レッスン／MCTトレーニング 課題曲「Jupiter」 テーマ：音域の広い曲 ポイント説明 HW：曲を覚えてくる、自分のキーに合ったオケ音源を持参する
4	基礎レッスン／MCTトレーニング 課題曲「Jupiter」 1人ずつ歌唱 1コーラスのみ
5	基礎レッスン／MCTトレーニング 課題曲発表 テーマ：自分で選曲する音域の広い曲→音源&歌詞カード2枚持参・キー変更OK 1コーラスのみ
6	基礎レッスン／MCTトレーニング 課題曲 テーマ：自分で選曲する音域の広い曲 1人ずつ歌唱→音源&歌詞カード2枚持参・キー変更OK 1コーラスのみ
7	基礎レッスン／MCTトレーニング 課題曲 テーマ：テンポの速い曲「シュガーソングとビターステップ」 1コーラスのみ
8	基礎レッスン／MCTトレーニング 課題曲 テーマ：自分で選曲するテンポの速い曲／前期評価曲発表 テーマ：自分が苦手な曲
9	基礎レッスン／MCTトレーニング 課題曲 1人1人に課題曲 Full cho
10	イントロダクション／基礎レッスン 課題曲 テーマ：ロック テーマに合わせて自分で選曲
11	基礎レッスン 課題曲 テーマ：ロック テーマに合わせて自分で選曲
12	基礎レッスン 課題曲 テーマ：リズム(R&B) テーマ：ロック テーマに合わせて自分で選曲
13	基礎レッスン 課題曲 テーマ：リズム(R&B) テーマに合わせて自分で選曲
14	基礎レッスン 課題曲 テーマ：バラード テーマに合わせて自分で選曲
15	基礎レッスン 課題曲 テーマ：バラード テーマに合わせて自分で選曲
16	基礎レッスン 課題曲 アニソン
17	基礎レッスン 課題曲 アニソン・1人1人に課題曲(HW)
18	基礎レッスン 課題曲 1人1人に課題曲 1cho歌唱
19	基礎レッスン 課題曲 1人1人に課題曲 Full cho歌唱

教科書等	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師制作テキスト</li> <li>課題曲の楽譜・音源・歌詞カード</li> </ul>
成績評価	<p>課題曲の成果30%、授業態度および学習意欲70%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	ヴォーカルインストラクター・イベントシンガー・チャペルシンガーとして10年音楽業界に従事

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	コーラスワーク		実務授業の有無	○
担当講師	マクレーン有美 アシスタント：塩田美月		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	留学＆音楽・ダンス科		対象コース	英語＆ヴォーカルコース

授業概要	<p>ヴォーカリストとして大切な「相対音感」を身につけるためのトレーニングを行う。          全員での合唱・アカペラ曲の歌唱、少人数でグループにわかれてのコーラスのある曲の歌唱を通し、相手の音を聞き、相手の音に合わせることを通し、1つの音楽を大人数で作り上げることや、人の音に合わせて自分の声を出す意識を高める。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 発声練習
2	発声練習 合唱曲① パート別音取り・パート練習
3	発声練習 合唱曲① パート練習・合唱
4	発声練習 合唱曲① パート練習・合唱
5	発声練習 合唱曲② パート別音取り・パート練習
6	発声練習 合唱曲② パート練習・合唱
7	発声練習 合唱曲② パート練習・合唱
8	発声練習 合唱曲③ パート別音取り・パート練習
9	発声練習 合唱曲③ パート練習・合唱
10	後期イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 発声練習
11	グループコーラス曲① グループ別練習
12	グループコーラス曲① グループ別練習
13	グループコーラス曲① グループ別練習
14	グループコーラス曲① 発表
15	グループコーラス曲② グループ別練習
16	グループコーラス曲② グループ別練習
17	グループコーラス曲② 発表
18	合唱曲④ パート練習
19	合唱曲④ 合唱

教科書等	各課題曲楽譜・音源を配布
成績評価	<p>授業態度および学習意欲50%、音程の正確さなど技術全般50%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>ヴォイストレーナー歴21年 多くアーティスト、アイドル、ゴスペルグループ、合唱団の指導</p> <p>ニューヨーク、ロサンゼルス、日本にてヴォイストレーニングを受講</p> <p>自らもアーティスト活動でメジャーデビュー、それに伴うプロモーション活動全般を経験</p>



# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライブパフォーマンス実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	李 玗承		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38
対象学科	留学&音楽・ダンス科		対象コース	英語&ヴォーカルコース

授業概要	実践力を養う 人脈を増やす パフォーマンス力、メンタル面強化
------	--------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習チェック
2	よろっtoローサ本番
3	反省会/次回の課題すり合わせ/自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習
4	自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習チェック
5	よろっtoローサ本番
6	反省会/次回の課題すり合わせ/自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習
7	よろっtoローサ本番
8	反省会/次回の課題すり合わせ/自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習
9	よろっtoローサ本番/前期レポート提出
10	2学科自己紹介/PA担当決め/ヴォーカル科自由曲選曲・決定/MC台本完成
11	練習チェック(営業セット用意、PA込み)
12	よろっtoローサ本番(PA込み)
13	反省会/次回の課題すり合わせ/自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習チェック
14	練習チェック(営業セット用意、PA込み)
15	よろっtoローサ本番(PA込み)
16	反省会/次回の課題すり合わせ/自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習チェック
17	練習チェック(営業セット用意、PA込み)
18	オーディション(アーティスト、PA各3組選抜)
19	よろっtoローサ本番/後期レポート提出

教科書等	使用しない
成績評価	授業態度および学習意欲80%、課題レポート提出20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2011年～市内中学校、施設、ダンススタジオにてヴォーカル指導。 2014年～東京交響楽団にいがたコーラス所属。

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライブパフォーマンス実習Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	李 玗承		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	留学&音楽・ダンス科		対象コース	英語&ヴォーカルコース

授業概要	実践力を養う 人脈を増やす パフォーマンス力、メンタル面強化
------	--------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習チェック
2	よろっtoローサ本番
3	反省会/次回の課題すり合わせ/自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習
4	自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習チェック
5	よろっtoローサ本番
6	反省会/次回の課題すり合わせ/自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習
7	よろっtoローサ本番
8	反省会/次回の課題すり合わせ/自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習
9	よろっtoローサ本番/前期レポート提出
10	2学科自己紹介/PA担当決め/ヴォーカル科自由曲選曲・決定/MC台本完成
11	練習チェック(営業セット用意、PA込み)
12	よろっtoローサ本番(PA込み)
13	反省会/次回の課題すり合わせ/自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習チェック
14	練習チェック(営業セット用意、PA込み)
15	よろっtoローサ本番(PA込み)
16	反省会/次回の課題すり合わせ/自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習チェック
17	練習チェック(営業セット用意、PA込み)
18	オーディション(アーティスト、PA各3組選抜)
19	よろっtoローサ本番/後期レポート提出

教科書等	使用しない
成績評価	授業態度および学習意欲80%、課題レポート提出20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2011年～市内中学校、施設、ダンススタジオにてヴォーカル指導。 2014年～東京交響楽団にいがたコーラス所属。

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ギター専攻実技 I		実務授業の有無	○
担当講師	真山亮		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	留学&音楽・ダンス科		対象コース	英語&ヴォーカルコース

授業概要	実践での演奏に必要な技術を養う。様々なスタイルやコード進行に対応できるバックイング、アドリブ等のアプローチ方法を学びます
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	フィンガリングやピッキングの音感とレーニング等の基礎トレーニング
2	フィンガリングやピッキングの音感とレーニング等の基礎トレーニング
3	上記を毎回日々のトレーニングとします。オープン、バレーコード等の基礎を学びます
4	オープン、バレーコード等の基礎を学びます
5	バックイングアプローチ、マイナーペンタトニックを使ってアドリブ練習
6	バックイングアプローチ、マイナーペンタトニックを使ってアドリブ練習
7	バックイングアプローチ、メジャーペンタトニックやイオニアンスケールを使ってのアドリブ練習
8	バックイングアプローチ、メジャーペンタトニックやイオニアンスケールを使ってのアドリブ練習
9	前期試験。これまでの内容の実践
10	ブルースでのバックイングアプローチ、メジャー/マイナーペンタトニックを使用してアドリブの練習
11	ブルースでのバックイングアプローチ、メジャー/マイナーペンタトニックを使用してアドリブの練習
12	ブルースでのバックイングアプローチ、メジャー/マイナーペンタトニックを使用してアドリブの練習
13	ブルースでのバックイングアプローチ、コードトーンを意識したアドリブの練習
14	ブルースでのバックイングアプローチ、コードトーンを意識したアドリブの練習
15	ブルースでのバックイングアプローチ、コードトーンを意識したアドリブの練習
16	ブルースでのバックイングアプローチ、ペンタトニックやコードトーンを意識したアドリブの練習
17	ブルースでのバックイングアプローチ、ペンタトニックとミクソリディアンスケール関係
18	ブルースでのバックイングアプローチ、ペンタトニックとミクソリディアンスケール関係
19	後期試験。前期を含めて実践的に成果をみます

教科書等	無し
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	講師歴15年。大手音楽教室資格取得

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ギター専攻実技Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	留学&音楽・ダンス科		対象コース	英語&ヴォーカルコース

授業概要	総合的なギターの奏法を体得する。読譜からアドリブ演奏などの発展形までを網羅する。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション ブルースセッションKey=A
2	ブルース進行における音楽理論的な考察
3	ブルース進行でのソロの作り方。ターンアラウンドフレーズ
4	メジャーブルース課題曲【KeyToTheHighway】の解説、ソロの取り方
5	マイナーブルース課題曲【Thrill is gone】の解説、ソロの取り方
6	ジャズブルース進行の考察。
7	ジャズブルース進行でのソロの取り方。
8	ジャズ課題曲【AutumunLeaves】でのコードアナライズ・メロディの読譜
9	学期末試験ジャズ課題曲【AutumunLeaves】のコード伴奏・メロディを演奏する。
10	ジャズ課題曲【AutumunLeaves】でのコードアナライズをしたうえでアドリブを取ってみる。
11	ジャズでのコードバック（コンピング）
12	ボサノバ風バックトレーニング（課題曲：Girl From Ipanema）
13	ブルースロック系バック・ソロトレーニング（課題曲①）
14	ブルースロック系でのソロメイキング（マイナーペンタ・メジャーペンタ・トリリアンスケールを用いる）
15	ブルースロック系でのソロメイキング（ミクソリディアンスケールを用いる）
16	3つのマイナーダイアトニックコード
17	3つのマイナーダイアトニックコードを用いたコード進行で、アドリブを取る（ナチュラルマイナー・メロディックマイナー・ハーモニックマイナースケールを使用して。）
18	ドミナントスケール
19	課題曲演奏による初見演奏での期末試験

教科書等	なし
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ギターインストラクター歴12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。